

# LR 独立レビュー声明書

## セメント及びセメント関連製品のバリューチェーンを通じた温室効果ガス削減 貢献量算定・報告プロトコルおよび 2017 年度に生産したセメントの CO<sub>2</sub> 吸収 による GHG 削減貢献量の算定結果に関するレビュー報告書

このレビュー報告書は、契約に基づいて太平洋セメント株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

### 業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、太平洋セメント株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、セメント及びセメント関連製品のバリューチェーンを通じた温室効果ガス削減貢献量算定・報告プロトコル、および 2017 年度（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）に生産したセメントの CO<sub>2</sub> 吸収による温室効果ガス排出削減貢献量（報告書等）についてレビューを実施した。LR は、プロトコルのレビューにあたり、温室効果ガス削減貢献量等に関する以下の国際基準・業界ガイドライン等を参照している。

- 温室効果ガス削減貢献量算定ガイドライン（経済産業省、2018 年 3 月）
- GHG Protocol - Product Life Cycle Accounting and Reporting Standard（WRI および WBCSD, 2011）
- 化学産業による比較分析をベースとしたバリューチェーン GHG 削減貢献量の算定・報告ガイドライン（WBCSD および ICCA、2013 年 10 月）
- Accounting and Reporting Protocol for Avoided Greenhouse Gas Emissions along the Value Chain of Cement-based Products（Lafarge Holcim、2016 年 1 月）
- ISO14064-2: 2006 温室効果ガス - 第 2 部：プロジェクトにおける温室効果ガスの排出量の削減又は吸収量の増加の定量化、モニタリング及び報告のための仕様並びに手引

LR のレビュー業務は、具体的には以下の事項をカバーしている。

- 会社によって策定されたプロトコル、及び同プロトコル付属書に示す「セメントの CO<sub>2</sub> 吸収量算定方法論」のレビュー
- 「セメントの CO<sub>2</sub> 吸収量算定方法論」に基づき算定された 2017 年度の GHG 排出削減貢献量の評価

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LR はそれ以外のいかなる義務または責任も放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

### レビュー意見

レビュー業務の結果、LR は、以下のように結論を述べる。

- プロトコル及びセメントによる CO<sub>2</sub> 吸収方法論の要件を満たしている。
- 上記の国際規格、業界ガイドラインを参照しており、会社によって使用された利用可能な科学的知見と矛盾していない。
- 報告書中で重要な誤りは発見されず、信頼性のあるデータと情報が開示されている。

**注:** レビュー業務は、保証業務と異なり、会社の要求および契約に基づいている。本業務では、プロトコルと計算方法を評価するための既存の基準は存在しないため、プロトコルや算定方法論そのものを使用して報告された結果に対する正確性の保証は行わない。